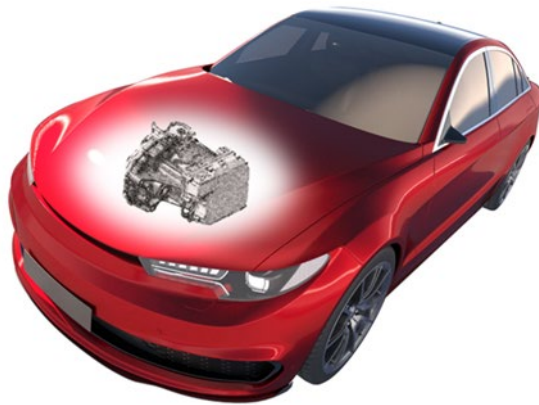


2022年9月26日

日立 Astemo 株式会社

Honda の電気自動車向け電動アクスルを受注し、電動化事業を更に拡大

電動化事業において 2025 年度売上 4,000 億円超、2030 年度にはその 2 倍以上をめざす



電動アクスルのイメージ

日立 Astemo 株式会社(代表取締役 プレジデント&CEO: ブリス・コッホ／以下、日立 Astemo) は、電動化事業におけるグローバルリーディングカンパニーとして、本田技研工業株式会社(取締役代表執行役社長: 三部敏宏／以下、Honda)が 2026 年よりグローバル展開を予定している中・大型バッテリー電気自動車向けの電動アクスルを受注しました。

Honda 向けの電動アクスルでは、日立 Astemo がシステムインテグレーターとして、炭化ケイ素(SiC: シリコンカーバイド)を使用した高効率インバーターと角線を用いた高効率・低損失モーターをギアメーカーの小型で静粛性が高いギアボックスに組み合わせ、自社開発の高性能な一体駆動ユニットとして Honda に納入する予定です。

世界各国からカーボンニュートラル実現に向けた表明が相次ぎ、自動車メーカーが電動車などの環境対応車の投入を加速しているなか、パワートレインにおける開発効率向上や部品点数削減によるコスト低減、軽量・コンパクト・高効率化などに寄与する電動アクスルの需要拡大が見込まれています。日立 Astemo は自社開発した電動アクスルを今後、グローバルで様々な自動車メーカーに拡販することに加え、モーター、インバーターを自動車メーカーの内製やギアメーカーの組み立てとなる電動アクスル用に供給するといった両方のビジネスモデルにより、急拡大している電動アクスルの需要に対応していきます。

今後、日立 Astemo は、2021 年の経営統合によるシナジーを最大限に生かし、統合した拠点や技術、

リソースを活用するとともに、グローバル生産拠点の更なる強化を図ることで、電動化事業におけるグローバルリーディングカンパニーとしての地位をさらに強化していきます。具体的には、電動化事業に対し2025年度までに研究開発費を含め3,000億円の投資を行い、2025年度における電動化事業の売上収益を4,000億円超、さらに2030年度にはその2倍以上に拡大することをめざします。

日立 Astemo は、日立製作所の研究開発グループとも連携し、インバーターでは独自冷却方式のパワームジュールや小型・薄型で放熱性の高い絶縁実装技術などにより、業界最高水準の出力密度を誇っています。また、日立の創業製品でもあるモーターでは、これまで培ってきた材料開発技術や解析技術、静音化技術、生産技術をマグネット、電磁鋼板、巻線で構成される磁気回路などに生かすことで、トルク密度において競争優位性を確立しています。さらに日立 Astemo は、モーター、ギアの最適制御ソフトウェアを含むシステムインテグレーションに強みを発揮します。当社におけるこれらの差別化技術をギアメーカーが有する先端技術と融合し、業界最高水準の効率性ととも到低振動・低騒音やモジュール設計によるコスト競争力に優れた電動アクスルを自動車メーカーに提供していきます。

日立 Astemo は、パワートレイン&セーフティシステム事業をはじめシャシー事業、モーターサイクル事業、ソフトウェア事業、アフターマーケット事業から成る戦略的な事業ポートフォリオにより、事業強化と技術革新に取り組んでいます。「グリーン」、「デジタル」、「イノベーション」を軸とした成長をめざし、排出ガスを低減する高効率な内燃機関システムと電動システムでより良い地球環境に貢献し、自動運転や先進運転支援システム、先進シャシーシステムで安全性・快適性を向上させていきます。このような先進的なモビリティソリューションの提供を通じて、持続可能な社会の実現とともに、お客さまの企業価値の向上に貢献していきます。

■会社概要

日立 Astemo 株式会社

本社：東京都千代田区大手町二丁目2番1号 新大手町ビル

事業内容：自動車部品および輸送用ならびに産業用機械器具・システムの開発、製造、販売およびサービス

詳しくは、日立 Astemo のウェブサイト(<https://www.hitachiastemo.com/jp/>)をご覧ください。

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
